

第12回新潟リハビリテーション研究会 兼日本リハビリテーション医学会関東地方会生涯教育研修会 プログラム

日時：2009年10月24日（土）12:30～18:00

会場：新潟大学医学部有壬記念館

新潟市中央区旭町通1-757 Tel. 025-227-2038, 2039

1. 新潟リハビリテーション研究会役員会 12:30～13:30
会場 新潟大学医学部有壬記念館 1階小会議室
2. 新潟リハビリテーション研究会会員総会 13:35～13:45
会場 新潟大学医学部有壬記念館 2階大会議室
- * 日本リハビリテーション医学会会員、新潟リハビリテーション研究会会員の皆様は全員ご参加下さい

3. シンポジウム（発表1名10分、総合討論40分） 13:50～15:30
テーマ：「新潟県におけるリハビリテーション診療の諸問題」
司会：新潟医療福祉大学、真柄彰教授、新潟大学歯学総合病院 木村慎二先生
シンポジストと演題名

- (1) 県立リウマチセンター リハビリテーション科 青木可奈先生
「阿賀北地区での脳卒中地域連携パスの現状」
- (2) 新潟リハビリテーション病院 リハビリテーション科 崎村陽子先生
「回復期病棟におけるリハビリテーションの諸問題」
- (3) ゆきよしクリニック 整形外科 荻荘則幸先生
「医療・介護・障害者福祉のインテグレーション」～訪問リハビリテーションを通して～
- (4) 新潟県理学療法士会代表 ゆきよしクリニック 三村健様
「新潟県における理学療法の現状」
- (5) 新潟県作業療法士会代表 高齢者総合福祉相談センター福住 田上等様
「新潟県における作業療法の現状」
- (6) 新潟県高齢福祉保健課 介護事業係 係長 笹川弘幸様
「介護保険における訪問リハビリ、通所リハビリの現況と問題点」

4. 薬事案内 15:30～15:45
「ロキソニンテープ・パップの安全性について」 第一三共株式会社

休憩 15:45～16:00

5. 教育研修講演
- (1) 「要介護高齢者に対する摂食・嚥下リハビリテーションと介護予防」 16:00～17:00
座長 みどり病院院長 佐藤豊先生
講師 日本大学歯学部摂食機能療法学講座 教授 植田耕一郎先生

2000年に220万人であった介護保険受給者は、2007年末に450万人を超えました。要介護高齢者の人口増加は、生活全般の中で摂食機能に関する不都合も増幅されています。そこで、要介護高齢者の摂食・嚥下機能に関する実態とリハビリテーション及び誤嚥性肺炎予防のための口腔ケアについて検討し、またリハビリテーションは医療のみならず福祉（介護）も視野にとらえる必要があると思いますので、摂食・嚥下リハを通じた介護予防について紹介させていただきます。

- (2) 「顔面神経障害の病態とリハビリテーション」 17:00～18:00
座長 新潟医療福祉大学医療技術学部 教授 真柄彰先生
講師 帝京大学医学部リハビリテーション科 教授 栢森良二先生

顔面神経麻痺のリハビリテーションには末梢性と中枢性リハビリテーションの2つに大別できる。末梢性の対象は、Bell 麻痺、ハント症候群などがあり、中枢性では舌下—顔面神経吻合術後、交叉顔面神経移植術後がある。前者の目標は迷入再生を予防することが目的であり、後者では顔面運動皮質を再構築することである。それぞれのアプローチは、末梢性では顔面筋の随意運動を避け、ストレッチを行うことである。中枢性では、舌運動に同期した、対称的な顔面筋の随意運動を強く行うことである。

新潟リハビリテーション研究会定例勉強会

症例検討 抄読会 ミニレクチャー

連絡先 新潟大学医歯学総合病院 総合リハビリテーションセンター

T E L 025-227-0308 skimura@med.niigata-u.ac.jp (担当：木村)